



222 号！
にゃーにゃーにゃー



品川女子学院図書室
2023 年 2 月発行
222 号

品川女子学院の入試問題

入試問題の国語で出題された本をご紹介します！

◆第 1 回

『2050 年の地球を予測する 科学でわかる環境の未来』伊勢武史：著／筑摩書房

『マジックに出会ってぼくは生まれた 野生のマジシャン HARA 物語』涌井学：著／小学館

◆第 2 回

『フェイク』中野信子：著／小学館

『夏の体温』瀬尾まいこ：著／双葉社

◆表現力・総合型

『自分を信じる力』福岡堅樹：著／講談社

2 月 22 日限定企画

にゃーにゃーにゃーの猫の日と、YOMOCA222 号にちなみ！

2 月 22 日（水）限定で、本を借りると猫の葉を 1 人 1 枚プレゼントします！

柄が複数あります。借りるときに選んでください。

数量限定ですので、品切れの時はごめんなさい！猫に関する本も展示します。

こんな柄の葉です



本屋大賞ノミネート

本屋大賞は「全国の書店員さんがいちばん売りたい本」を選ぶ賞です。

今年のノミネート作品は以下の 10 作です。

どれも図書室にある本ですので、ぜひ気になる本を読んでみてください！

『川のほとりに立つ者は』寺地はるな：著／双葉社 ※発注中

『君のクイズ』小川哲：著／朝日新聞出版

『宙ごはん』町田そのこ：著／小学館

『月の立つ林で』青山美智子：著／ポプラ社

『汝、星のごとく』凧良ゆう：著／講談社

『方舟』夕木春央：著／講談社

『#真相をお話しします』結城真一郎：著／新潮社

『爆弾』呉勝浩：著／講談社

『光のところにいてね』一穂ミチ：著／文藝春秋

『ラブ力は静かに弓を持つ』安壇美緒：著／集英社

図書委員のおすすめ本

[913/カ]『本好きの下剋上』シリーズ 香月美夜：著／T0 ブックス ※電子図書館にもあります

No
Image

周りの人に呆れられるほど読書が好きな「本須 麗乃」。

ところがある日、実家の書庫にいる時に地震が起こり、落ちてきた大量の本によって圧死してしまう。死の間際に彼女が願ったのは、「来世でも本に囲まれて暮らしたい」という純粋な欲望だった……のだが。高熱にうなされ目を覚ますと、全く知らない世界の、「マイン」という少女になってしまっていた。マインとして目覚めた麗乃は早速本を探そうとするが、

「マイン」は虚弱で外に出ることすらままならない始末。ようやく外に出ることができても、本はおろか、紙すら全く見当たらない。それもそのはず、その世界の紙はとんでもなく高価だったのだ。そんな世界で「図書室司書」になるべく、まずは紙から手作りすることに……!?

主人公が、自分の願いのために奔走する中で、たくさんの人と関わりを持ち、色々な手段でものづくりを進めていくお話で、とても読み応えがあるので、是非読んでみてください！ 5 年 S さん

[913/ユ]『レゾンデートルの祈り』樫一志：著／KADOKAWA（ドワンゴ）

No
Image

2035 年、神奈川県・江ノ島のラストリゾートには誰もが「死にたい」と願う人が来る。安楽死が合法化された日本で人命幫助者〈アシスター〉の遠野眞白は死に救いを求める人々と正面から向き合い、「死にたい」と願う人の奥底に眠る微かな「生きたい」という希望を見つけようと奮闘する。

愛する人と死別して抜け殻のような日々を送っている人、小さい頃は勇者になりたかったが歳を重ねて引きこもりになってしまった人、生きる意味や生きる楽しさを問い問われ 10 回という限られた面接時間で相談者に寄り添い光のある方向へ導く。なぜなら彼女自身も昔は死を願う悲しき人であったから。

安楽死が合法化されている新たな日本を舞台にしているので、あくまで想像という感じで読むことができますが、この本には日々の自分の生き方も客観視できるような悲しくて胸がツンと痛くなるような話が多く詰まっています。一時期ネットでも話題になった、とても心に刺さる本となっています。

この本の続編で『レゾンデートルの誓い』という本もあります。ぜひ 2 冊とも読んでみてください！

2 年 S さん

[913/ハ]『櫂を、君に。』蓮見恭子：著／光文社

No
Image

中学 3 年生の倉本歩はソフトボール部ながら陸上部員より足が速かったため代わりに駅伝に出場し、駅伝の楽しさに気づく。また、テレビで全国中学校駅伝大会を見たことをきっかけに駅伝が強い港ヶ丘高校に入学する。速く走れるようになりたいという強い気持ちで港ヶ丘高校の陸上部に入部した歩だったが、周りは歩より遥かに速い選手ばかり。それでも諦めず直向きに努力する歩や、走るのが速いことで周囲の期待に押し潰されている庄野瑞希、双子の姉より足が遅いことをプレッシャーに感じている高田菜など、さまざまな悩みを抱えている同級生や先輩達が日々の練習や駅伝を通して、タイムを縮めるだけでなく「駅伝をする上でのチームのあり方を学び」精神的にも成長していく青春物語となっています。

読んでいて心に響くものがあり、満足感が味わえる本です。気になった人はぜひ読んでみてください。

2 年 T さん